

皆さんの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。 市役所秘書課 ☎ 672-6116

新しい名物「元気丼」が登場!!

和田山地区飲料組合は3月26日と27日、経産但馬牛を使用した食べ物と和田山地域の特産品を集めた「和田山Bグルメ&産品まつり」をイオン和田山駐車場で開催しました。

様々な露店が集まった特設会場。中でも一番の人気は経産但馬牛を使った「元気丼」でした。

経産牛とは母牛のことで、市場に流通していません。この牛肉を和田山地域のブランドとして売り出し、地域活性化に役立てようと、和田山地区飲料組合と本場但馬牛銘柄推進協議会が約3年の試作期間を経て「元気



元気丼が次々に売れていました

丼」を完成させました。訪れた人は、岩津ねぎや温泉たまごなどがトッピングされた元気丼をおいしそうにほお張っていました。

少しの緊張と大きな希望

市内で入園・入学式



入園記念品を受け取る園児

4月上旬、市内の保育所や幼稚園、こども園、小中学校で入園・入学式が行われました。今年度からスタートした「大蔵こども園」。真新しいピカピカの園舎に園児が保護者と手をつないで登園しました。0～5歳児の97人が参加した入園式。園児は名前を呼ばれると元気な声で返事をしました。少し不安げな表情の園児も先生が優しい声をかけると、照れながらも笑顔で返していました。

枚田区民による森づくり事業

3月27日、枚田区と枚田財産区による「内高山の森」づくり事業が行われ、約60人の区民が記念植樹や植栽作業に参加しました。

平成24年の開通を予定している北近畿豊岡自動車道が通過する枚田区の内高山。季節ごとに色を変えるイチヨウの木を植えて、美しい景観にすることが目的です。作業に参加した大西美優さんは「きれいな山になったらいいと思います」と笑顔を見せました。



地元子どもたちもがんばって手伝いました

生野銀山文化ミュージアムが開館



企画コーナーでは坑道の実物大模型が展示

生野銀山と生野鉱物館に3月24日、「生野銀山文化ミュージアム」がオープンしました。このミュージアムは、子どもたちにとって分かりやすく、興味を持ってもらえるように、生野鉱山の歴史、鉱山の科学、生野鉱山と地域文化の3つのテーマに分けられ、それぞれのコーナーではイラスト付きの大きなパネルや映像、貴重な鉱石などを展示。今後、学習の場としての活用が期待されます。